

株式会社ジェイコム千葉 千葉セントラル局 2021 年度 放送番組審議会

<放送番組審議会委員>

伊 澤 偉 行 様 岩 沼 静 枝 様 大 串 隆 様
大 曾 根 裕 様 木 村 雅 英 様 佐久間 勝 彦 様
関 根 洋 一 様

(50音順)

2021 年度の放送番組審議会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、番組審議会委員と事業者との対面での審議は実施せず、Web を活用したリモート会議にて開催、事業者側より放送番組審議会委員に向けて現況報告及び J : COM チャンネルでの取り組み、放送実績について報告を実施、審議委員より J : COM チャンネルに対しての意見・要望を頂いた。

■ 審議会会長選任

会長に、岩沼 静枝様を選任した。

■ 審議会副会長専任

副会長に、関根 洋一様を選任した。

■ 議 事

- (1) ジェイコム千葉セントラル局の現況ご報告
- (2) コミュニティチャンネルのご報告（方針・全体概要）
- (3) 審議 （岩沼会長による進行）

□番組内容について

(委員)

コロナ禍で、地域に寄り添う、地域でしか作れない番組を放送している事が理解できた。一般の方々は、ケーブルテレビの取材を通じて、ご自分がテレビにほんの少しだけ出演し、映っただけでも嬉しいと感じる事が多々ある。それが地域密着テレビの利点でもあるので、今後も地域に寄り添う姿勢を大切にしていだきたい。

(委員)

現在、地上波のみならず、インターネット動画配信サイトなど競合他社が様々な企画・アイデアなどの戦略を仕掛けている。特にショート(短編)で魅力、お笑いなどを一気に創出し、これが一般的にうけている面もある。これまでのケーブルテレビの魅力であったコンセプト「どろーかる(地域密着性)」を更に進化させる事を考え、仕掛けていかなくてはいけない時代に入ったと感じる。今後、様々な地域情報を短い時間で、より多く放送する手法も視野に検討して欲しい。

(事業者)

昨今、ネット配信サイトの利用拡大により、若年層の利用率が高くなっている。若い世代やインターネットを介しての発信力があり、中高年層は、口コミ等での拡散力がある。今後も老若男女、幅広い世代の視聴者に向けた地域情報発信に努めると共に、更に誰に向けた情報発信なのか、各世代ターゲットを明確にした企画も考えて参ります。

(委員)少年野球の特別番組を通して、地域の子供達の元気な姿を見るだけでも心がほっとする。これが地域に根付く地元テレビ局の存在でもあり役割である。今後も、ファンを増やす事を地道に築きあげて欲しい。

(委員)新型コロナの影響により、各家庭において家族でテレビを視聴する機会が確実に増えたと思う。そのような中で、家族のニーズにあったテレビ放送が、制作側の皆さんへ求められている状況である。コロナ禍で、11月に2つの新番

組を打ち立てられたが、千葉市が昨年、市制施行 100 周年を迎える中で、市民に郷土を知り、愛着心を感じていただけるような情報を、LIVE ニュースで、地域密着の精神で、こまめに取材・放送した事は、将来に非常につながる番組になったと感じた。これからも地域を掘り下げた情報発信に期待している。

(事業者)

引き続き、市民視聴者が求める情報を地域メディアである私どもがしっかり調査し、市民生活に特化した情報発信に努めて参ります。更に、市民の生活圏内である隣接市の情報も段階的に取り入れ、便利と感じていただける情報も併せて発信して参りたいと思います。

(委員)

テレビは、視聴率の実態や向上を求められるが、地域番組を通じ、市民に安心感、信頼感を持っていただく各取組みが J:COM の良い点である。今後も「安心・信頼」を大切にいただき、バランスの図れた地域情報番組の制作に励んでいただきたい。

(委員)

千葉人図鑑に千葉市の神谷市長が出演された放送回で、普段、市民が知る事のない市長の人柄や素顔を拝見する事ができ、視聴者(市民)は、市長の存在を、より身近に感じる事が出来たのではないかと思う。

(委員)

千葉人図鑑を視聴し、自分が住む街に、こういった方が住んでいて、地道にコツコツ頑張っていることを通じて知り、出会える事は、非常に新鮮で、教科書に出ている言葉ではなく、その人だから語れる言葉こそ、生きた言葉だと深く感じた。今後も、地道に頑張る、いまだ光があてられていない職種の方を発掘し紹介していただきたい。

(委員)

現在、朝の放送時間帯にも若者世代を対象とした番組も増えているように思われる。お茶の間に明るい話題の提供や、お笑いをテーマとした番組も必要であるが、やはり地域の出来事(安心・安全)を視聴者にしっかり伝える地域ニュースの存在も必要と感じており、ここは地域メディアである J:COM の強みでもあるため、これからも市民から信頼されるメディアとして活躍いただきたい。

☐ 委員からの要望:番組で紹介された情報内容について

(委員)

番組を通じて、市内の様々な場所が紹介されているが、視聴者の興味を更に導かせるため、その場所が千葉市のどの位置にあるのかフリップやテロップ等で伝える事が出来れば、視聴者が現地に行ってみたくなる動機付けにもなると思うので検討して欲しい。

(委員)

放送で紹介された場所で、行きたいな、と感じた場所でも、現代の若者ならスマホ等を使い Web 検索で即調べる事ができるが、そうでない世代(高齢者層)では番組で発信された情報が頼りとなるので、何か良い方策を考えて下さい。

(事業者)

今後も、視聴者の皆様に地域の魅力や出来事を再発見、再認識いただくために、よりわかりやすい、より親切な情報発信に努めるべく、委員よりご提案いただいた手法も含め、各地域情報番組に取り入れていきたいと思えます。

☐ 事業者からの委員への質問

(事業者)

国内において新型コロナウイルスの感染が確認された以降、弊社番組でも千葉県および各自治体で発表されるデータを基に各市における感染状況を月曜から金曜の平日、毎日発信している。また感染予防への注意喚起や市内の商業施設、飲食店の情報も併せて発信している。3 年目となる with コロナ時代に視聴者が求めるニーズとは何か、ご教授賜りたく、お願い申し上げます。

(委員)

当初、国内における新型コロナの状況を伝えるための報道は、いずれも痛々しい入院患者の様子や辛く厳しい病状を伝える内容が大半をしめていた。しかしオミクロン株の流行と共に疑似症患者も増加傾向にあり、いつ誰が感染してもおかしくない状況が今もなお続いている。そのような現況下で伝える情報とは、万一、自分が感染したら、どうになってしまうのか?どのような生活が待っているのか?どう対応すればよいのか?など、これまでの感染対策への注意喚起と、いざ感染した時の対応について等を放送する事で、少しでも不安を取り除く事が出来るのではないか。

(事務局)

各委員からの貴重なご意見、ご要望を今後の番組認知・広報に活かしていく所存です。

貴重なご意見、アドバイスを賜り、誠にありがとうございました。

以上